

カラスによるごみ散乱防止、ごみ出しに工夫を！

問 環境課ごみ減量係 ☎95-9899

各家庭でのごみ出しに少し気を付けていただくことで、カラスによるごみ散乱防止につながります。

▼ごみは決められた収集日・時間を守って出しましょう
ごみが集積所に置かれている時間が長いほど、カラスによるごみ散乱が起こりやすくなります。必ず決まった収集日の朝にごみを出してください。

▼生ごみはごみ袋の外から見えないように入れましょう
カラスは視覚が発達しておりごみ袋の外からも目で餌を見分けることができると言われています。生ごみの水分をしっかりと切り、ごみ袋の真ん中に入れるなど外から見えないように入れることも効果的な対策です。

▼カラス除けネットを効果的に使いましょう
カラスとごみ袋の接点を断つため、カラス除けネットの端をごみ袋の下に入れ込むなど、ネットをしっかり活用しましょう。カラスは学習能力が高く、ネットを持ち上げてごみ袋をつつくという報告もあります。隙間を作らないようにネットをかけることも効果的です。

▼カラス除けネットの配布

市ではごみの集積を進めるために、4世帯以上でごみを集めている箇所にカラス除けネットを無償配布しています。ただし、取り付け、消耗した際の交換などのネット管理は地域の人をお願いをしています。ネットを希望する人は環境課まで来てください。

▼カラス除けネット使用時の注意点

- ・ごみ収集日以外には、ネットを小さくたたむ、収納するなどを行い、またネット使用時は歩道などへ広がりにすぎないようにし、通行の妨げにならないよう気をつけてください。
- ・ネットの設置場所は、近隣トラブルにつながることを避けるよう、地域でのご理解、ご協力をお願いします。

3月1日～7日は春季全国火災予防運動 火を消して 不安を消して つなぐ未来

問 衣浦東部広域連合消防局予防課 ☎63-0136

火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図ることで、火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年この時期に実施しています。

▼住宅防火 いのちを守る10のポイント

【4つの習慣】

- ・寝たばこは絶対にしない、させない。
- ・ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ・こんろを使うときは火のそばを離れない。
- ・コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

【6つの対策】

- ・火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使用する。
- ・火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- ・火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
- ・火災を小さいうちに消すために、消火器などを設置し、使い方を確認しておく。
- ・高齢者や身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- ・防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

▼住宅火災を知らせる警報器！取り替え時期は？

住宅用火災警報器は、一般的には電池で動いています。火災を感知するために常に作動しており、その電池の寿命の目安は約10年とされています。

住宅用火災警報器が適切に機能するためには維持管理が重要です。「いざ」というときに住宅用火災警報器が適切に作動するよう、火災予防運動の時期などに、定期的に作動確認を行い、適切に交換を行うよう習慣づけましょう。



定期的な作動確認

古くなったら交換